

新規開催

お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)から直接で

JMA 長期インターンシップ または
セミナーID(半角数字) JMA 152814 で検索
もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

2



スマートフォン・
タブレットから



※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は、JMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問合せください。

受講料	参加費(税込)	一般社団法人日本能率協会法人会員	左記会員外
	通常申込	121,000円/1名	144,100円/1名
	早期申込割引 (2025年9月30日◎締切)	104,500円/1名	125,400円/1名

※本事業開催時の消費税率を適用させていただきます。
※法人会員ご入会の有無につきましては、右記HPにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/list/>

【上記参加料に含まれるもの】

●研修費、資料費、昼食費、懇親会費 ※研修地までの交通費は含まれません

定員 20名(1社2名様までとさせていただきます)

会員制度のご案内 小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくは関西事務所までお問合せください。

キャンセル規定 参加予定の方のご都合が悪い場合は下記のキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。なお、キャンセルの申し入れは文書(メール・お問合わせフォームを含む)をお送りください。

開催15日前(開催日を含まず起算)~8日前	受講料の10%
開催7日前(開催日を含まず起算)~前々日	受講料の30%
開催前日および当日	受講料の全額

ご注意
●参加申込規定はお申込ページにごございますので、ご確認・同意の上、お申込ください。
●同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
●参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただきます。

申込に関する問合せ先
(参加証・請求書、キャンセル・変更 等)

JMAマネジメントスクール
TEL:03(3434)6271

電話受付時間 月~金曜日9:00~17:00 ただし祝日を除く
メール:seminar@jma.or.jp FAX:03(3434)5505

企画に関する問合せ先
(プログラム内容、会員入会 等)

**一般社団法人日本能率協会
人事・人材開発セミナー事務局**

〒530-0001
大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビルディング6階
TEL:06(4797)2050(関西事務所内)
メール:hr@jma.or.jp

セミナーID JAM 152606

関連
セミナー

エンジニア/技術者の採用を成功させる

採用リーダー養成コース [技術系人材採用編]

2日間集中合宿プログラム

採用・育成サービスの導入や小手先の手法に飛びつき、その場しのぎになっていませんか？
エンジニア/技術者の採用や育成方法は次々と変化し続けます。時代が変わっても成果を出し続ける“再現性”ある仕組みの構築を目指し、技術系人材の採用・育成を極めるリーダーを目指します。

- 対象
- エンジニア/技術者の採用に携わる方
※新卒採用・キャリア採用どちらも対象です。
 - エンジニア/技術者の育成・研修に携わる方
 - 技術系企業の人事・経営企画など、人材戦略にかかわる方

- 会場 研修会場・宿泊ともに Lstay&grow 晴海(東京都中央区)
- 日時 [1日目] 2025年9月8日(月) 13:00~19:00 講義・討議
19:00~21:00 懇親会
[2日目] 2025年9月9日(火) 9:00~16:00 講義・討議
- 講師 杉浦 大介 株式会社 Tecrhyne 代表取締役
特別ゲスト

自社にあったインターンシッププログラムを設計する

採用リーダー養成コース

[長期インターンシップ編]

2日間通いプログラム〈懇親会付き〉

経験豊富な講師と企業の実践例から学び、 ワークショップで実践力を身に付けます。

「企業のためのインターンシップ実施マニュアル」「長期実践型インターンシップ入門」の著者であり、民間企業出身で、大学で産学連携プログラムや様々なプログラムを設計してきた実践者が講師を務めます。また、複数のゲスト講師から、企業の実践例を学び、自社に合ったインターンシップのプログラム策定をすることを目指します。

- 日時**
- [1日目] 2025年10月30日(木) 13:00~17:00 講義・討議
17:00~18:30 懇親会
- [2日目] 2025年10月31日(金) 10:00~16:00 講義・討議

会場 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

- 対象**
- 採用・インターンシップに関わる人事責任者・担当者
 - インターンシップの受け入れ担当部署の責任者・担当者
- ※すでに受け入れを実施している方はもちろん、これから受け入れようとしている方も歓迎です

JMA 経営革新を推進する
一般社団法人日本能率協会

経営・人材革新センター 人事・人材開発セミナー事務局
E-mail: hr@jma.or.jp TEL: 06-4797-2050 (関西事務所内)

**採用
リーダー
養成コース**
[長期インターンシップ編]

オープンバッジ発行対象

全日程への参加・事前課題の期日までのご提出など一定の基準を満たした場合は、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証である「オープンバッジ」を発行いたします。

■ コースのねらい

昨今では、売り手市場の環境が継続しており、また、就職活動の早期化や、インターンシップが普及発展したことによって、多くの企業が早期にインターンシップを実施するようになりました。2022年以降は短期間の取り組みはオープンカンパニーという名称などが活用されました。一方で、長期間の取り組みの方が学生の教育効果が高いということが、主張されているものの、企業視点では、長期間に取り組む方法などがわからず、多くの企業ではあまり取り組むことができていません。

本コースでは、企業にとって、**長期インターンシップにどのように取り組み、どのようなメリットが得られるかを理解し、さらに実際に取り組む場合にはどのように実施すれば良いのかを具体的な事例と効果に触れながら検討**します。講師は、「企業のためのインターンシップ実施マニュアル」「長期実践型インターンシップ入門」の著者であり、民間企業出身で、大学で産学連携プログラムや様々なプログラムを設計してきた実践者が担当します。また、**複数のゲスト講師から、企業の実践例を学び、自社に合ったインターンシップのプログラムをワークショップを通して作成**します。

参加後には、学生が教育効果を得ることができて、企業にとってもメリットが得られる Win-Win なインターンシップ プログラムを実施するために、どのような取り組みを行えば良いのか理解することを目指します。

■ コースの特長

1 インターンシップを深く理解し、自社のニーズに合致させる

インターンシップの特徴を理解し、期間・内容など、自社に合致した適切なインターンシップが何かを理解します。
インターンシップの効果や内容を理解せず、自社のニーズとミスマッチな内容に取り組むことが多いことから、解消することを目指します。

2 今どきの学生を理解し、参加学生へのよりよい支援につなげる

インターンシップの専門人材として、学生が満足する・効果を感じるために必要なことを理解します。
学生の教育効果・満足度を上げるために、どのように学生と接触、どのように支援することが必要かを理解します。

3 社内の巻き込みに必要な要素を理解し、よりよいプログラムを提供する

インターンシップのコーディネーター人材として、自社内の関係者がインターンシップに協力し、実践するために必要な要素を理解します。
社内に必要な仕組みを整えて、組織として学生にとっても企業にとっても Win-Win なインターンシップを実施することができることを目指します。

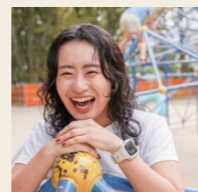


特別ゲスト (敬称略) *長期インターンシップで有名な「NewsPicks」をはじめ、今永講師が厳選したインターンシップの成功事例を持つ担当者が登壇。



石井 千晶 株式会社ユーザベース スピーダ事業
エキスパートリサーチ本部 アカウントマネージャー

経営のスピードを上げる情報プラットフォーム「スピーダ」、国内最大級の経済ニュースプラットフォーム「NewsPicks」を企画・開発・運営・提供している株式会社ユーザベース。これまで長期インターンシップを経由した採用を実施。10名以上の長期インターンシップを事業部ごとに受け入れている。



大谷 真奈美 株式会社船橋 事業企画室

合羽專業製造業である株式会社船橋において、これまでに15名以上の長期実践型インターンシップ生を受入。新商品の販路拡大、経営革新に向けた計画立案などを経営者、経営者の右腕若手社員と一緒に実施。取り組みは論文でも公開されるなど注目の先進事例である。



伊藤 大地 元 有限会社大橋量器

枅專業の製造業(業界シェアトップ)である有限会社大橋量器において、15年以上長期実践型インターンシップを実施する。開発した新商品は「地域若者チャレンジ大賞 2016」で中小企業経営革新賞を受賞するなどの実績も多数。地方創生インターンシップのポータルサイトの動画などで取り上げられる先進事例である。

■ プログラム

1 日目 [時間] 13:00 ~ 18:30

懇親会付

1. 趣旨説明・ガイダンス・自己紹介

2. インターンシップを活用する意義

企業にとってインターンシップを活用する意義・効果

グループワーク

3. インターンシップの種類ごとの目的と効果

期間ごとの特徴 (超短期間、5日程度、1ヶ月程度、1ヶ月以上)
内容ごとの特徴 (業務補助、課題への取り組み、課題解決・新規企画)
インターンシップの効果

4. インターンシップの事例紹介

長期実践型インターンシップに取り組む企業の事例
受入企業 A 社の取り組み、コーディネーターによる実践事例

5. 懇親会 (17:00 ~ 18:30)

2 日目 [時間] 10:00 ~ 16:00

昼食付

1. アイスブレイク

グループでの交流

2. 長期インターンシッププログラムの作成

事前課題に基づき、グループでプログラム案をブラッシュアップする

3. 発表会

発表へのフィードバック

4. 長期インターンシップを実施するために

ジョブ・タスクの分解、プロジェクトを設計する
事前学習、事後学習・インターンシップ中の伴走支援
実施に向けた事前の準備: 社内への働きかけ、効果測定

5. 全体振り返り・リフレクション

2日間の総まとめ 明日から自社で活用するには

■ 講師紹介 (敬称略)



今永 典秀

名古屋産業大学 現代ビジネス学部 経営専門職学科 准教授
地域連携センター長 / 岐阜大学博士(工学)

プロフィール

名古屋大学経済学部卒業後、大手信託銀行へ就職。その後大手自動車系不動産会社へUターン転職。経営企画部に所属しながら、ボランティアで社会人と学生が協働する団体「NAGOYA×FOREVER」を立ち上げる。その後、国立大学法人岐阜大学地域協学センターへ移り、インターンシップを中核とした次世代地域リーダー育成プログラム産業リーダーコースの設立と運営。現職の名古屋産業大学では専門職大学・学科の新設プロジェクトに関与し、インターンシップのプロデュースを行う傍ら、企業やNPOのアドバイザーなどをつとめる。

著書に「企業のためのインターンシップ実施マニュアル」(日本能率協会マネジメントセンター、2021、共著)、「長期実践型インターンシップ入門」(ミネルヴァ書房、2024、編著)、「協働・共創による外部資源を活用した実践経営」(『経営専門職入門』日科技連出版社、2021)、がある。